

社会とともに

| 事業を通じた社会貢献

| トライやる・ウィーク

ノーリツは兵庫県内の公立中学校 2 年生を対象とした「トライやる・ウィーク」を 1998 年より毎年受入れています。明石本社工場で生徒 6 名が製品組み立てや部品供給、機械加工の体験を通して社会とのかかわりを感じてもらいます。

※トライやる・ウィークは、「挑戦する(トライ)」とともに「学校・家庭・地域社会の三者(トライアングル)」で子どもの生きる力を育むための取り組みです。



| 障がい者雇用促進に向けて

エスコアハーツの雇用促進の取り組み

エスコアハーツや株式会社カンマでは都道府県労働局や各県ならびに県下市町村による障がい者就労促進事業に合わせ、就労支援機関や学校関係、一般企業からの事業所見学の受け入れをおこなっています。

特例子会社エスコアハーツでは、障がい者の方への就労支援として行政とのタイアップで実習生を受け入れ、本人の障がい特性に合わせたカリキュラムを編成することで、実習内容の充実に取り組んでいます。

2014 年からは実習者の人数を限定し質の向上に取り組んでいます。実習者一人ひとりと障がい特性や職業課題について事

前に打ち合わせをおこない、実習では日頃の訓練成果を試し、評価と実習で新たに見つかった課題は本人と支援機関にフィードバックしています。

エスコアハーツの受け入れ状況の推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
事業所見学者数	900名	911名	273名	467名	443名	208名	508名	625名	28名
実習生受入者数	171名	162名	45名	38名	18名	17名	25名	5名	0名

おふろ文化の拡大と継承に向けて

ノーリツは「入浴事故」の軽減や「健康・美容」をテーマとしたセミナーの開催や情報発信など、おふろ文化を楽しく広める活動をおこなっています。

2016年2月26日(ピースなふろの日)に、日本中に「おふろ好きな人を増やす」ことを目的に、神戸市水道局と神戸女子大学と産学官連携をして「おふろ部」を設立しました。キュレーションメディアとして、おふろにまつわる記事の発信に加え、かかわる学生が事業やインターンシップでは得られない知識を学びながらサイトを運営しています。

2020年は2度のオンラインイベントを実施し、約70名の学生ライター同士で「コロナ禍でのおふろの在り方」について意見交換会を行いました。

おふろ部～おふろがもっと楽しくなるキュレーションメディア～>

https://ofurobu.com/?ktr_sid=d42996891732b6039e43662bb418df18&ktr_rpt=1



おふろ部のサイト画面

震災復興支援

阪神・淡路大震災復興支援

ノーリツグループでは阪神・淡路大震災で被災し、支援を受けた企業として震災復興の支援をおこなっています。阪神・淡路大震災の記憶を語り継ぐ「神戸ルミナリエ」では従業員による募金活動と会場の清掃・案内ボランティアを実施しています。2016年より、ハンディキャップがある方やご高齢の方を対象に開催される「ルミナリエハートフルデー」にも企業ボランティアとして参加し、同じくハンディを持つエスコアハーツの従業員とともに、手話案内や募金呼び掛けなどのボランティア活動をおこなっています。



神戸ルミナリエ 100円募金ボランティアの様子

東日本大震災復興支援

みちのく未来基金

ノーリツは、2013年から公益財団法人「みちのく未来基金」の支援企業として、被災地の皆さんとともに歩んでいくことを決定しました。同基金は東日本大震災によってかけがえのない親を亡くした子どもたちの、高校卒業後の進学を支援する目的で設立されました。この活動に共感した多くの企業や団体が、力を合わせて取り組んでいます。

東日本大震災復興において、私たちに何ができるのかを検討し、微力ながら同基金への支援をおこなっています。2020年も従業員の募金と会社からの義援金を合わせて同基金へ寄贈しました。





地域社会との共生

クリーンウォーク

ノーリツ各事業所が拠点を置く地域への社会貢献を目的に、ノーリツクリーンウォークを毎年11月に開催しています。ノーリツグループ従業員とその家族、ノーリツOBのゆうゆう会が参加し、マイクロプラスチックなど環境問題となっている海岸の清掃活動を行います。清掃で回収した集計データを関係機関と連携し環境の取り組みに協力しています。

2020年はコロナウイルス対応のため、11月を「Noritz Clean Month」として小集団単位で活動を行いました。



「神戸マラソン」給水ボランティア参加

「神戸マラソン」は阪神・淡路大震災からの復興と、現在に至るまでの感謝の気持ちを趣旨とした大会です。震災時に全国から支えていただいた地元企業として、また陸上部を有する企業として、サポートできればとの思いから、団体ボランティアとして参加し給水活動をおこなっています。



NPO 法人「フードバンク関西」への協力



SDGs(持続可能な 17 の開発目標)への対応として「1.貧困をなくそう」「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」「10.人や国の不平等をなくそう」といった目標に対応すべく、廃棄物削減や社会貢献の観点から認定 NPO 法人フードバンク関西へ食品や飲料を寄付しています。

2018 年より災害時の非常用備蓄品の入替に合わせた飲料の寄付をはじめ、従業員が家庭で保管されたままになっている食品を寄付する「フードドライブ」を実施しています。

今後も継続して実施する予定です。



災害備蓄寄付の様子



フードドライブの様子